

パソコンから教室新聞

雑誌や新聞、書籍など、本屋さんへ行けば沢山棚に陳列されています。が、今やタブレットやスマートフォンで購入して、そのままそれで読む、そういう時代です。

電子書籍

電子書籍とは、読んで字のごとく電子データ化された読み物のことです。

タブレットやスマートフォンにダウンロードして、ページをめくる代わりに、画面をスクロールしながら読みます。紙の書籍などと異なり「場所を取らず」「持ち運びが楽」です。重さと場所は、タブレットやスマートフォンそのもので完結します。また、本屋さんに行かずとも、思い立ったときに購入することが出来るのも、とてもお手軽です。



新聞

決めて購読契約すると、発売日にはアプリで読めるようになります。

(アプリを開くと、いつでも過去のものも含めて最新版を読むことができます。)

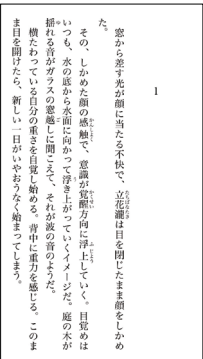
1か月間定額で読み放題のサービスも増えてきました。雑誌やコミックなどが中心で、最新号が読めるものが多いようです。



コミックス

また、無料で利用できるものもあります。「青空文庫」アプリでは、明治・大正の文豪たち(夏目漱石や森鴎外など)の著作権が切れた小説が読めます。

文庫や雑誌といったものとは異なりますが、「トリセツ」アプリがあります。電化製品などを購入したときについてくる「取扱説明書」が読めるアプリです。意外に保管場所を取ったり、なくなってしまうがちです。取扱説明書は、いざという時に必要な資料です。また、新しく機器を購入する時の事前調査にも役立ちます。機器番号で検索してみましよう。



小説などは文字だけ

どんなものがある？

また、紙としてのリサイクルも必要ありません。一度試してみたいかがでしょうか。

専用のアプリが、どの書籍でも必要になります。新聞各紙も専用のアプリがありますので、それをインストールして読みます。

新聞であれば、各新聞社のサイトで購読契約をする必要があります。その上で専用アプリを使って読みます。

単行本や雑誌、コミックスの場合、購入するサイトに等によって読む際のアプリが異なりますので、最初にどこから書籍を購入するかを決めます。アップル、アマゾン、ドコモ、紀伊國屋書店など、様々なところから購入することができます。

iPhoneやiPadには、「iBooks」アプリが最初から入っており、それを使えば購入から読むことまでを一つのアプリでできるようになっています。

月刊誌や週刊誌などは、定期購入もでき、あらかじめ一か月や半年間、1年間など、期間を



雑誌



電子書籍の大手といえばアマゾンです。アマゾンストア内の「Kindleストア」で購入し、専用の「Kindle」アプリで読みます。ここでは、通常の紙の本も購入できますので、買う際は間違わないように注意しましょう。

電子書籍は、手軽に購入できて、持ち運べる便利な仕組みです。また、本屋さんではなかなか見つからない、買い逃してしまった週刊誌などが購入できるなど、電子書籍ならではの便利さもあります。まずは何か一冊、無料の「青空文庫」アプリから読んでみてはいかがでしょうか。

教室のWebページは左記アドレスまたは、QRコードからどうぞ。

新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<http://pc-iwakura.com/>



See you next Month